



《金沢龍馬會 新年会》

日時：1月25日（木）18:00～20:30
場所：「招龍亭」（金沢市西念3丁目5-35）

依然として震災の支援途上です。能登在住の会員様の安否は確認されました。被災された方にお見舞い申し上げます。

講演時間：18:00 — 18:30

参加者は 山田/不破/蛭子/中田/佐藤/吉田/紐野/中城/松岡/朝日/周藤/北川/小幡/池田/加藤/堀野/松下/森川/中村 会友杉本 計20名。

一、講演会

会長新年挨拶に引き続き堀野昌弘様による講演「道路交通法改正について」が行われました。

◇ 道路交通法改正の変遷で運転免許種類の新設

環状交差点の交通方法/携帯電話使用など「ながら運転」の厳罰化/あおり運転の厳罰化/令和4年5月13日施行の内容（高齢者講習制度の見直し/安全運転サポート車等限定条件付免許の導入/若年運転者の運転免許受験資格の見直し/積載の緩和）/自転車乗車時の乗車用ヘルメット着用の努力義務/電動キックボードの扱い 今後の道路交通法の改正。これらを、参照資料を見ながら分かりやすく説明いただきました。

最後に「坂本龍馬が現存し自動車を運転し交通事故を起こしたら」という前提で交通事故を起こしやすい干支と星座の統計があり、愉快的「落ち」が付きまして。今回は30分の講習時間でした。もう少し長ければ更に詳しく理解できたと思います。



二、親睦会

紐野県議の乾杯の音頭で親睦会を開始しました。中華料理で飲み放題でした。

◇震災体験の報告は先ず池田さんの体験紹介から始まりました。志賀町の最大震度は7であり、

その時の様子と事後区長としての働きぶりを紹介され皆の感動を誘いました。その後佐藤/松岡/松下/不破各氏から震災関連の体験が語られました。

◇加藤氏から「角の上」という会社を設立した旨の紹介がありました。以前勤務していたフィックスと同じ様な業務内容とのことですが、具体的には会社のホームページが立ち上がった時点で詳しく説明します。

◇不破県議は坂本龍馬の名前が教科書から消えるという問題を調査されました。具体的には小学校社会科「学習指導要領」の42名の代表的歴史上人物に龍馬が入っていないということであり、中学校では全ての教科書に出てくるとの説明でした。更に調査・検討を重ねられることと存じます。

◇中田副会長主催で「新年会ビンゴゲーム」を行いました。商品は参加者の持ち寄りでした。

◇不破県議の中締めで新年会を終えました。写真撮影を行いました。

三、その他

◇紀州宗光龍馬会が主催している「龍馬を教科書から消さない」運動に18名様のお署名をいただきました。

【嗚呼、無念！前会長 中川可能作さま、ご逝去さる！】



ことし令和6年1月25日（木）我が金沢龍馬会の前会長の中川可能作さまがご逝去されました。（85歳）

中川前会長からは、金沢龍馬会の会報発刊にあたっての熱いご挨拶を頂き、【「楽しみながら人間を磨こう」をモットーに龍馬の志をしのび、日本の、あるいは自分の周りの行く末、来し方に思いを致す事がこの会の真髓だ】と常々言われておられた金沢龍馬会の先達でした。ご冥福を心からお祈りいたします。 合掌

《金沢龍馬會 総会》

日 時：6月中旬の予定

場 所：未定

講 演：川端真紀子さん

テーマ「保険の話??（交渉中）」

懇親会：16:00～

費 用：未定

《36 回龍馬 World in 和歌山》

「龍馬と宗光 未来への伝言 —和魂、紀州和歌山にあり」

日時：7月13日(土) 和歌山城ホール

12:30 受付開始

13:30 開会

14:40 基調講演

16:00 パネルディスカッション

18:15 交流会

(ダイワロイネットホテル和歌山)

7月14日(日)/15日(祝) エクスカーション

- ① 南紀熊野三山巡礼
- ② 高野山
- ③ 南紀白浜
- ④ 和歌山市 三社詣り、和歌の浦
- ⑤ 乗船体験&演奏会

《志士たちが活躍した長崎とは ⑳》

田中光顕

本篇主題の長崎とは直接関係ないが、明治以降龍馬にヘッドライトをあてた人物として忘れてならない志士である。

龍馬が有名になった第一弾は明治初期土陽新聞掲載の坂崎紫瀾「汗血千里駒」、第三弾が戦後の司馬遼太郎「竜馬が行く」、そして第二弾は田中光顕(みつあき)が明治天皇の皇后に言わしめた「夢のお告げ」である。

田中光顕は天保14年(1843)土佐藩家老の家臣の家に佐川村で生まれた。武市半平太の土佐勤王党に参加した。

藩内で弾圧されると脱藩し、長州藩へ行き高杉晋作の弟子となる。第一次長州征伐後、新選組に摘発され大和十津川へ逃げた。第二次長州征伐では丙寅丸で幕府軍と戦った(同時に戦った乙丑丸は龍馬が指揮を執ったと云われている)。

その後土佐へ戻り中岡慎太郎が隊長の陸援隊に参加する。近江屋事件で龍馬と慎太郎が暗殺された後、すぐに近江屋に駆けつけ、まだ息の根があった慎太郎と話しをしており二人が斬られた際の模様を聞いている。

その後、鳥羽・伏見の戦いで高野山にこもり紀州藩にらみをきかせ戊辰戦争で活躍。

維新後は新政府に加わり岩倉使節団に参加した。西南戦争では政府軍会計部長となり、明治12年には陸軍省会計局長、そして陸軍少将に任官。その後、元老院議員、内閣書記官長、警視總監、学習院院長を歴任。

子爵となり明治31年宮内大臣に就任。最後には伯爵となり昭和14年95歳で逝去した。正二位であった。

幕末や明治初期に多くの志士が不幸にして亡くなっているが彼は長生きし例にもれず権力を欲しいままとした。

司馬遼太郎の小説内では散々な描かれ方である。

しかし龍馬を語る上では大きな貢献をしたのである。

明治37年(1904)光顕は宮内大臣であった。



昭憲皇后(ウキペディア)

2月日露戦争の前夜、皇后が葉山の御用邸に滞在の折、中年の武士が皇后の夢枕に立ったとのこと。『この度の海戦は必ず皇軍の海軍が勝利する』と。光顕に下問されたので龍馬の写真を見せたところ、皇后は「この方に間違いない」と返答されたとのこと。

光顕はこれを世のなかに発表したところ、この時代龍馬の影が薄くなっていたのに再び脚光を浴びた。

これは光顕の捏造と言う説もあるが、第二弾として龍馬が再び有名になったのである。

その遠因で昭和3年5月土佐桂浜にて地元青年が発起し募金で龍馬像が建立された際、沖に駆逐艦が現れ祝砲を撃ったと云われているとの事。

参照：ウキペディア 他

●年会費納入のお願い

令和6年4月から来年3月迄の年会費：

¥3,000-

例会ご出席の折か次の口座まで送金下さい。

郵便局 口座No 00780-5-38627

口座名義 金沢龍馬会

振込手数料は龍馬会が負担。3千円のみです。

【編集後記】

皆さま、心の中に常に“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。

会報も第39号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。

***** 事務局 *****

金沢龍馬会

会長：蛭子政喜

事務局長：吉田信夫

080-5600-1113

jitianxinfu@hotmail.com

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

n-toshio@muji.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会 公式ホームページ

<https://kanazawa-ryomakai.com>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai>

